東海村 議会だより

2026.10
第66号



目 次

９月定例会

９月議会あらまし／補正予算 …… P 2
賛否の分かれた議案、討論 …… P 3
村政を問う！〔一般質問〕 …… P 4～10
委員会レポート …… P 10
議会のひとこま …… P 11
まちづくりNew Face／12月定例会日程（予定）… P 12

９月13日に開催された
「第43回東海やったん祭」

9月議会あらまし

※全議案の議決結果は議会ホームページでご覧いただけます。

令和８年第３回定例会（９月議会）は、９月１日から 28 日までの会期で開催し、９日から 11 日の日程で 11 名の議員が一般質問を行いました。予算決算委員会では、令和８年度の補正予算と令和７年度の決算を審査しました。

最終日 28 日の議案審議では、補正予算および決算、教育委員会委員や人権擁護委員の任命など村長提出議案を含む 28 件を可決・認定・同意しました。

また、請願１件を審査し採択したほか、議員提出議案１件の審査を行い修正可決しました。

補正予算 台風６号で被害を受けた農業用ビニールハウス等の復旧を補助するための予算を可決

令和８年６月に発生した台風６号の影響により、被害を受けた農業用ビニールハウス等の復旧支援を目的として、村独自に復旧費用を補助するための補正予算を可決しました。

この補助により、被災された農家の皆さまの経済的負担を軽減し、一刻も早い農業経営の立て直しと復旧が進むことを期待しています。

■補正予算額　316 万５千円



被害を受けた村内のビニールハウス

補正予算 商工会加盟事業者が受けるエネルギー価格・物価高騰等の影響を軽減するための予算を可決

エネルギー価格・物価高騰等の影響軽減を目的として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の一部を村内商工会に加盟する１事業者当たり１万円を補助するための補正予算を可決しました。

原材料価格や仕入れ価格の高騰の影響を受ける商工業者へ、経営負担軽減の一助となることを期待しています。

■補正予算額　729 万円



各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

令和８年第３回定例会（９月議会）では、30 件の議案等のうち、賛否が分かれたのは５件でした。以下には、賛否が分かれた議案名とその要旨についてお知らせします。

議案等名＼議員名	新政とうかい												公明党		光風会				結果
	飛田静幸	大内則夫	越智辰哉	河野健一	吉田充宏	寺門定範	笹嶋士郎	三上修	松江秀明	川崎克彦	川﨑裕弥	宮本翔太	岡崎悟	植木伸寿	恵利いつ	村上志保	大名美恵子	阿部功志	
議案第53号	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
認定第１号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第２号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第３号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第４号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定

○…賛成　　×…反対　　※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

議案第53号	東海村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について 出入国管理および難民認定法等の一部を改正する法律の施行に伴い、多機能端末機を使用した印鑑登録証明の申請において、新たに導入された特定在留カードおよび特定特別永住者証明書の利用を可能とするほか、所要の改正を行うため、条例の一部を改正するもの。
認定第１号	令和７年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第２号	令和７年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第３号	令和７年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第４号	令和７年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について



討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

認定第１号　令和７年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について

賛成討論

新政とうかい
河野 健一 議員

村発足70周年記念事業では、記念式典をはじめ、多くの事業が実施された。先人たちが築いてきた歴史を振り返り、故郷への愛着を深めると共に、未来へのつながりを村民全体で共感できたのではないかと考える。

反対討論

大名 美恵子 議員

原子力および電源に関わる９種の歳入合計は、20 億 5,771 万 5,774 円で総額の約 8.4％。福島原発事故を目の当たりにし東海第二原発もあわやの事態だった本村は原子力発電に関わる歳入は当てにすべきでない。

村政を問う！ 一般質問

岡崎　悟　議員　P.5
1　認知症早期発見への取組について
2　学校の火災対策について
3　大規模災害に備えたオストメイトへのストーマ装具支援について

宮本　翔太　議員　P.5
1　学校配当予算の実態把握と充実に向けて
2　自然災害発生時における保育施設・小中学校の臨時休園・休校基準
3　村道・公園の維持管理体制
4　先進技術を活用した水道管路管理

恵利　いつ　議員　P.6
1　心に刻む平和教育を
2　台風６号による農業被害と農家への支援の在り方
3　雨水による浸水・冠水被害への対策について
4　庁舎敷地の管理・美化について

阿部　功志　議員　P.6
1　原子力施設の火災等に、村の対応は
2　自然災害時の支援体制は
3　原子力災害時の支援体制は
4　陽圧化施設の安全性は

村上　志保　議員　P.7
1　地域ワークショップの目的と位置づけは
2　東海村におけるふるさと納税の今後の取組は
3　難病患者への経済的支援のさらなる充実の可能性は

川崎　克彦　議員　P.7
1　自治会及び住民個人から寄せられる道路要望への対応を問う
2　本村の水道料金体系の在り方を問う
3　村立東海病院における医師配置と常勤医師の安定確保を問う

松江　秀明　議員　P.8
1　行政は若者のサードプレイスを創出できるのか、持続の条件を問う
2　地域福祉を支える地域の担い手
3　地域産業の未来を担う人材育成と事業継承

三上　修　議員　P.8
1　通院の利便性改善
2　未就園児、未就学児と保護者の支援・保護拠点の整備
3　まちづくりを支えるリーダーの養成
4　小中学生の AI 技術利用教育の課題
5　消費税減税措置に関する本村独自の経済対策

笹嶋　士郎　議員　P.9
1　村の基金運用を考えては
2　事務事業の見直しの現状について
3　真崎十字路の雨水対策後の豪雨対策は
4　中学校の部活動地域展開の進捗状況について

大名　美恵子　議員　P.9
1　来年度の国保税は引上げ無しに
2　村道の維持・管理について
3　太陽光発電設備設置への対応について
4　原子力科学研究所における火災について
5　東海第二原発の再稼働是非判断に係る住民の意向把握について

越智　辰哉　議員　P.10
1　高齢者の見守りと住民の理解促進
2　学校現場における自転車の安全教育
3　原子力災害時における避難行動に関する住民の意向把握
4　出生数の要因分析と未婚化を見据えた経済的土台づくり

※青字の質問は次のページ以降で掲載。
※質問要旨は議会ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会　検索

一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長などに質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

問 ＶＲ機器による認知症の早期発見を

答 費用対効果等を総合的に考慮し検討



公明党
岡崎（おかざき） 悟（さとる） 議員

問 **軽度認知障害は、病状が軽度のうちに、生活習慣の改善などを行うことで、健康な状態に回復することも可能といわれている。本村のスクリーニング検査以外にも、ＶＲ技術を活用して、記憶力や判断力を確認し、認知症の早期発見を進める水戸市の取り組みがある。ＶＲゴーグルをのぞいて、画面上に出題される問題に目線で回答するもので、検査時間は5分～10分程度、総合評価点などが表示され、予防に向けた取り組みが受けられる。本村でも取り組めないか。**

答 本村は、20項目にまとめたセルフチェック検査とパソコンを活用したスクリーニング検査を実施し、軽度認知障害の段階での早期発見の機会を増やし、進行を防止できるように取り組んでいる。ＶＲ機器の導入にあたっては、慎重を期す。ＶＲ機器の機能強化は今後も図られていくことから、高齢者にとっての操作性や眼病による結果への影響の有無、費用対効果等を総合的に考慮し検討したい。



認知症の早期発見に役立つＶＲ機器

問 災害時の休園休校基準を策定すべき

答 保育施設は策定に向け議論を行う



新政とうかい
宮本（みやもと） 翔太（しょうた） 議員

問 **保育施設の臨時休園基準・小中学校の休校判断基準を村として策定すべきでは。また、防災関係者や医療従事者、教職員など災害対応に当たる保護者の子への代替保育（拠点園方式）導入への見解は。**

答 保育施設の基準は未策定。災害の激甚化を踏まえ、策定に向け議論する。代替保育も公立・民間双方の保育現場の意見を聴きながら検討する。学校の臨時休校は校長が判断するが、柔軟に対応するため基準は設けず、教育委員会と関係機関で協議の上、児童生徒の安全を最優先に判断し、速やかに周知を行う。

問 **基準策定の目処は。現場の裁量、相談体制、ＰＤＣＡを組み込むべき。緊急連絡は専用アプリへの一極集中でなく複数手段を組み合わせるべきでは。**

答 保育施設では指摘を踏まえ検討し、次の梅雨・台風シーズンまでに公表を目指す。連絡はＨＰ掲載や防災行政無線等も活用する。小中学校も専用アプリの他、複数の手段で情報伝達を行っていく。



近年激甚化している自然災害

問 東海村の「顔」、雑草繁茂でいいのか

答 アダプト制度、導入の可能性を検討



光風会
恵利（えり） いつ 議員

問 **役場では、庁舎敷地全域に雑草が繁茂し、「使われなくなった施設のようで残念」との声がある。植栽や花壇をどのような考え方で管理しているのか。また、来庁者が気持ちよく利用できる環境整備についての考えは。**

答 管理基準は設けていないが、造園業者による年5回の除草・樹木剪定、シルバー人材センターによる年3回の管理を実施。気象の変化で草木の成長が早く、十分な対応ができていない面もある。今後、大規模な外構改修を具体化する中で、植栽管理の合理化・効率化を図り、改善策を検討する。

問 **改修までの間も適切な管理が必要。「絆」や各コミセン周辺では、住民や団体が環境美化に取り組んでいる。住民や団体、企業等が花壇等の維持管理に参加するアダプト制度の導入を提案する。**

答 アダプト制度は有効な手法の一つと認識しているが、運営方法や安全面など課題もある。先行事例や背景・経緯を調査し、導入の可能性を検討する。



雑草が繁茂する東海村役場（9月1日撮影）

問 避難場所の陽圧化施設の安全性は

答 施設出入り時の被ばくリスクは低い



阿部（あべ） 功志（こうし） 議員

問 **原子力災害時の避難計画には困難な課題が多々ある。気圧を調整して放射性物質を防ぐ陽圧化施設ではエアコンは使えないという。夏は熱風、冬は冷気でリスクが大きい。施設の一つ、東海高校体育館の空調、トイレ、出入り時の気圧調整は。**

答 内閣府によれば内部循環式エアコンの使用は可能。東海高校のエアテントは空調を通した送風で陽圧化され、村整備の陽圧化施設は内部循環式であり、空調が使用できる。東海高校はエアテント内に仮設トイレを設置するほか、気密化された多目的トイレにテントを接続する。施設出入り時の被ばくリスクは極めて低いと考える。

問 **程度は軽くても被ばくは避けられない。一般家庭での屋内退避の危険性と陽圧化で防げない貴ガス対策は。**

答 陽圧化されたRC（鉄筋コンクリート）造で約9割、陽圧化のない非RC造で約6割の低減と評価。貴ガスはフィルターによる除去は困難だが、陽圧化施設での屋内退避は被ばくを低減できる。



東海高校の避難時用陽圧化施設
（エアテントを収納）

問 難病患者への経済的支援の充実を

答 対象者拡大を含め総合的に勘案する



光風会
村上（むらかみ） 志保（しほ） 議員

問 **東海村では指定難病患者および関節リウマチ患者に年1万5千円の見舞金を支給しているが、県内他市町村と比較すると必ずしも高いとは言えない。額の根拠は。**

答 主に臨床調査個人票の作成費用や医療費自己負担分等の一部に役立てていただくことを目的とし、近隣自治体の事例を参考に定めている。

問 **現在本村の見舞金は県内自治体の支給額の中央値である2万円を下回っている。この現状を踏まえても、村は1万5千円という支給額を妥当と考えるか。**

答 本村の受給者数は増加傾向にあり、近年の物価上昇等を考えると現行の1万5千円についての検証は必要と考えている。今後総合的に検証を進める。

問 **支給額の充実と対象者の拡大について、今後いかなる方向性を考えているのか。**

答 対象者の拡大を優先としつつ、他の助成金との比較、増額の理由・根拠の明確化、福祉施策全体の中でのバランス等を総合的に勘案する。



見舞金申請窓口の総合相談支援課

問 安定した医療を提供できるか

答 安定した医療環境を提供できる状況



新政とうかい
川崎（かわさき） 克彦（かつひこ） 議員

問 **村立東海病院の常勤医師が目標12名を下回っている。病院経営の安定性に係る評価は。**

答 非常勤医師の補充により、診療機能を滞りなく維持している。病院経営の安定性は常勤医師数のみをもって判断するものではなく、患者数や病床稼働率、医業収益、経常収支等、さまざまな経営指標を総合的に勘案しながら評価する必要がある。今後も村民の皆さまに安定した医療環境を提供できる状況にあると認識しているが、安定した経営を維持するため、引き続き常勤医師の確保をはじめとする経営基盤強化の取り組みを継続する。

問 **地域医療振興協会による同病院の医師確保の取り組みと成果は。**

答 全国展開する協会のスケールメリットやネットワークを生かした医師の派遣、配置調整、大学病院へのリクルートのほか、ホームページや人材派遣会社も活用した求人にも力を入れている。令和7年度は計5名の常勤医師が入職するなど、常勤医師の確保に成果を上げている。



地域医療の要である村立東海病院

問 若者の居場所をどう育てる

答 担い手とともに、取り組みを継続



新政とうかい
松江（まつえ） 秀明（ひであき） 議員

問 中高生の居場所づくり実証事業について、どのような指標で成果や改善点を把握し、今後の施策へ生かしていくのか。

答 利用者数や利用頻度、滞在時間に加え、満足度や再利用意向、実際の過ごし方などさまざまな視点から把握し、今後策定する拠点・居場所の整備方針へ反映していく。

問 居場所づくりを持続的な取り組みとしていくために、地域の大人や支援者の関わりと、実証事業の今後の継続をどう考えていくのか。

答 地域の大人や支援者は、それぞれの立場で、こども・わかものとともに居場所や活動を支える存在になっていくことが望ましいと考える。実際に、ユースワーカー養成講座の受講者が実証スタッフとして活動する動きも出ている。今後、担い手育成や運営方法などのソフト面も整備方針に位置付けるとともに、実証ではすでに中高生の居場所として認知されてきていることから、必要な改善を加えながら継続実施を検討している。



ふらっと寄れるみんなの居場所
（中高生の居場所づくり実証事業）

問 通院の利便性改善策は

答 公共交通と福祉政策両面で支援



新政とうかい
三上（みかみ） 修（おさむ） 議員

問 本村の医療機関は、東海駅を中心として、半径1キロメートル以内に集中している。医療機関の利用者は、デマンドタクシーを頼みとする交通弱者が多く、通院の利便性改善は喫緊の課題。マイクロバス等を使用し、各医療機関と村内の要所を連絡すべきではないか。

答 交通弱者の方々の多くがドア・ツー・ドアを求めている。公共交通政策と福祉支援策の両面から移動を支援していく。「外出支援タクシー」や、社会福祉協議会の「移送サービス」の周知や利便性の向上に努める。

問 AI技術を利用した配車により利用者が急激に増加し、交通弱者に負担が及んでいないか。2部門の交通事業を1部門に統合して、デマンドタクシーを増強すべきではないか。

答 通院などの移動支援を行う場合、既存のデマンドタクシーとは切り分け、目的に応じた運行方法を構築することが望ましい。関係部門で利用状況や課題を共有しながら連携を図り、移動支援サービスの向上に努める。



ひたちなか市の地域公共交通で
運行されている９人乗りの車両

問 豪雨対策工事は毎年行うべき

答 雨水対策工事の予算確保に努める



新政とうかい
笹嶋（ささじま） 士郎（しろう） 議員

問 近年の線状降水帯による浸水被害は、千葉を襲った河川の氾濫や浸水など甚大な被害であった。村の把握した浸水箇所の解消に向け、計画はあるのか。

答 令和6年度に改定した「雨水管理総合計画」があり、この計画に沿って、市街地の浸水箇所を中心に事業を推進していく。今後は、さらなる自然災害の激甚化に備え、新たに対策に必要性が生じた場合は、随時計画に反映していく。

問 千葉豪雨や福井豪雨など私たちの予想をはるかに超えた災害になっている。住民の生命・財産を守るためには、スピード感をもって事業を進めるべき。新たな対策が生じた場合と悠長なことではなく、毎年予算を付け、着実に浸水対策工事を進めるべき。

答 雨水対策事業については、多額の事業費が必要となる。しかし、近年の集中豪雨は激しさを増しており、雨水対策事業の重要性は、高まっていると認識している。毎年度、必要な予算を計上し、事業を進めていく。



冠水する東海高校先のトンネルと
その先の民家と資材倉庫

問 短期間に５件もの火災。住民を恐怖に

答 施設の枢要な装置での発生はより深刻



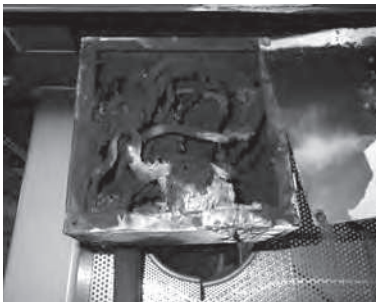
大名（おおな） 美恵子（みえこ） 議員

問 度重なっての火災発生だが、原科研のどういう点が深刻と受け止めたか。

答 日常的な設備点検や安全管理に関する教育を実施しているにもかかわらず、火災の発生を未然に防止できなかったことは、点検や教育の形骸化を疑うもので、安全管理上の組織的な問題があったものと考える。

問 原子力事業所で火災発生が多くなっている。事業開始以来、未点検の設備の総点検を求めることと、今後取りまとめられる再発防止対策について、適正性確認が必要ではないか。

答 原科研においては、村からの厳重注意を受けて全ての施設で火災に係る緊急点検を実施したと聞いている。今後取りまとめられる再発防止対策では、点検項目の見直し等、より強固な対策が講じられると認識している。また、原科研の分析により抽出された４点の組織的課題については、村として再発防止の取り組みが実効性あるものとなっているか、継続的に確認していく。



タンデム加速器建屋内での火災跡
（提供：JAEA原子力科学研究所）

問 自転車の安全教育は継続実施すべき

答 この取り組みは重要な教育活動である



新政とうかい
越智（おち） 辰哉（たつや） 議員

問 学校現場における交通安全教室での自転車の正しい交通マナー等に関する指導の現状は。

答 小学校では交通安全講話を行い、交通ルール等を中心に学習している。また中学校では、グラウンドおよび学校周辺の村道や交差点で実技指導を実施している。これらの取り組みを通し、自転車の正しい交通ルールや安全な利用方法についての教育に努めている。

問 本村は大半の中学生が自転車通学であるため、今後もこうした機会はしっかりと確保すべきと考えるが。

答 この取り組みは次年度以降も継続して実施すべき重要な教育活動であると考えている。

問 中学1年生に配布する通学用ヘルメットがスポーツタイプに変更されたが、生徒たちの受け止めや着用状況に変化は見られるか。

答 生徒からは「軽い、通気性がいい」など好意的な意見がある。また、保護者からは「通学時だけでなく休日でも積極的な着用が見られる」との声を聞いている。



中学校で実施された実技指導の様子

一般質問

委員会レポート

建設産業委員会

中央地区区画整理事業について確認しました

建設産業委員会では、10月7日、道路や公園などの公共施設を計画的に整備し、自然と調和した暮らしやすいまちづくりを進める「中央地区区画整理事業」の進捗状況を確認しました。

当日は、担当課から現在の事業の進捗状況や今後の工事スケジュールについて説明を受けた後、実際に工事が進められている1号根崎緑地調整池などを現地視察しました。

今回の視察を通じて、事業が着実に進められており、交通利便性が向上していること、民間投資の対象として高い評価を受けていること、調整池の整備を通して雨水対策機能が強化させていることなどが確認できました。今後も安全かつ早期に完成を迎えるよう、引き続き調査・確認を行っていきます。



1号根崎緑地調整池で工事内容の説明を受ける委員

令和８年度 県北中央町村議会議長会議員研修会に参加しました

令和８年度県北中央町村議会議長会議員研修会が７月 10 日に大子町文化福祉会館「まいん」で開催され、議長を含めて 16 名の議員が参加しました。

今回の議員研修会では、名字研究家の髙信幸男氏を講師に招き、名字にまつわる歴史や地域性などについての講演が行われました。日本固有の文化である名字の多様性を知ることは、地域の伝統や人々の結びつきを再発見する上で、大変有意義な機会となりました。

また、講演終了後には、参加した他町の議員との意見交換会を行い、地域の課題や今後の展望について活発な議論が交わされ、実りある研修でした。



講演の様子

インターン生が議場の見学・議長との懇談を行いました

東海村では、インターンシップ実習およびキャリア教育実習が実施されています。これは、役場での就業体験の機会を設けることにより、学生等の就業意識の向上に寄与するとともに、東海村職員として働く魅力を伝え、将来の東海村職員を志す者を確保することを目的としています。

今回は議会での受け入れはありませんでしたが、８月 24 日、実習の一環として議場見学の希望があり、議場を開放しました。見学の際には、議長との懇談の場が設けられ、村政の重要な意思決定を行う議会の役割や議員の想いについてお話がありました。

インターン生の皆さんにとって、今回の経験が将来や村の未来を考えるきっかけとなることを期待するとともに、今後、さまざまな舞台でご活躍されることを心より応援しております。


吉田議長と懇談するインターン生

東海村 議会だより
2026.10 第66号

Vol.7

グッドリッチ ストーブトウカイ

まちづくり New Face



新たに村に仲間入りした店舗や団体などを紹介。
地域に貢献する活動を応援していきます。

東海村船場の笠松運動公園沿いFUNABA SHIPS内で、薪ストーブ屋を営んでおりますグッドリッチストーブトウカイです。薪ストーブは、単なる暖房器具ではありません。その炎の周りには自然と人が集まり、会話が生まれ、暖かな時間が流れる。それは、私たちが理想とする「ほっとする暖かな場所」そのものです。この感動を一人でも多くの方にお届けしたいという想いから、ユーザー様はもとより介護施設のご利用者の方々の癒しの場としての活動も行っております。

また、地域の皆さまのお力になれますようにケアマネジャーの事務所を白方地区に開業いたしました。こちらもどうぞよろしくお願いいたします。



どうぞお気軽にご相談ください。

表紙写真の紹介



シリーズ 未来へ⑲

歴史と未来の交流館で開催された「第43回東海やったん祭」。中学生スタッフのお兄さんに教わりながら、お菓子釣りに挑戦。苦戦していたけど、お目当てのお菓子はゲットできたかな。

傍聴からはじめよう！

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階にお越しください。（受付は30分前から）

傍聴の定員は42名

（うち、車椅子専用スペース2名分有り）



12月 定例会日程（予定）

■については インターネットでライブ配信



映像配信ページ

期　日	時　間	内　容
12月 1 日（火）	午前10時～	議案上程 ■
12月 9 日（水）	午前10時～	一般質問 ■
12月10日（木）	午前10時～	一般質問 ■
12月11日（金）	午前10時～	一般質問 ■

期　日	時　間	内　容
12月14日（月）	午前 9 時～	予算決算委員会
12月15日（火）	午前10時～	予算決算委員会
12月18日（金）	午前10時～	議案審議 ■

※日程は変更になる場合があります。
※議案上程・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で受け付けをすれば、どなたでも傍聴できます。

議会報編集委員会
委員長 寺門 定範　副委員長 岡崎 悟
委員 大名美恵子　恵利 いつ　越智 辰哉　植木 伸寿　宮本 翔太

UD FONT

令和8年10月発行 ●発行／東海村議会 ●編集／議会報編集委員会
●〒319-1192 茨城県那珂郡東海村 東海三丁目7番1号
●TEL 029-287-0844 ●FAX 029-287-2305
●東海村議会ホームページ https://www.vill.tokai.ibaraki.jp/tokaimuragikai/